

(昭和52年3月1日神保具生援第1-376号をもって送付)

現認証明書

高田

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

旧名

[REDACTED]

19.7.1相国入国、同行勤者
21.2.14鹿島止陸
整長 北台空

[REDACTED]

昭和19年10月^{13日}空襲を受け、
[REDACTED]は上官の命令により
新竹市に行って帰る時、飛行場で
死亡、翌日部隊長から[REDACTED]が爆死
したので全員気を付けるようにとの
訓示を受けた。

死亡諸元

昭和19年10月18日 台湾、新竹州新竹市において
敵機攻撃を受けて戦死(受傷状況不詳)

[REDACTED]

1000

部序知事項

國錄
四月日
現召
補副
碩

参考事項
西條博士より、
思へず、ハル
19. 記憶下は、
10. 昭和
12. 北
昭和十一年

死没の場合に死没年月日
昭和19年10月11日
昭和19年12月10日
昭和19年12月10日

戰死

死殺の場所
台湾沖

死段の状

1910 明瞭通記

卷之五

□

員履未人李

合陽

下記に載る所を
軍病の死後者又
は目取船の沈没を
を御覧じありま
共か有世を○印
を付けて（少記憶
るは氏名附記）
こゝに下まゐ

(一) 本表は武蔵地方復興後務處理部復興業務課履歴宛必ず送と下まい
(二) 知得事項は推定とし結構より細大となく浅小なく記註と下まい
(三) 消息は確認しなほ他人から得た知得事項であつても必ず記註と下まい

地及

所獲部隊

師光

舊軍省

取分の満ちて
旧懂鑛

有世之印

以名附記	以仁義
------	-----

下土
田部

一、（下）
二、（上）

本
現注

佐右保局氣附
昭和十九年十月十一日
一補元吉
兵種水兵

官等級
昭和十九年十月十一日
一補元吉
兵種水兵

昭和十九年十月十一日
一補元吉
兵種水兵

昭和十九年十月十一日
一補元吉
兵種水兵

昭和十九年十月十一日
一補元吉
兵種水兵

昭和十九年十月十一日
一補元吉
兵種水兵

昭和十九年十月十一日
一補元吉
兵種水兵

本籍地

福鄉先

名
因

所屬部隊第十師根

每季以爲限

氏名

海軍以兵長

本調書田部隊長又、勤務殿有等、
貴部に於て知得、
先通報、

望德仁精粹
下士官無仁作

此篇猶人曰勿論他種生身者に就いて記述す

詳解に記載す

國事上存福

10

46576

死者調書

地所

部隊

姓名

職

生年月日

死年月日

概要

受傷年月日

受傷部位

受傷状況

[Redacted]

役種

隊別

天候

氏名

[Redacted]

入籍

生年月日

[Redacted]

死

葬

葬

葬

葬

葬

葬

葬

葬

葬

葬

葬

葬

葬

葬

葬

葬

葬

葬

葬

葬

葬

葬

葬

463

昭和二年三月八日

考

吳地方復員局人事部長宛

45006

為主

實

八年十一月

氏名

34 56-7000

不

勤勞概要

不明

上
上
上

發病(受傷)年月日

病名(受病部位)

我病受傷又
戰時亦洗

此州西歸安縣所

二十九年五月二十日

十月 早中時前不_レ以 甲戌上_二載_一考_一 國ノバカキニミ 歌元ス

唐肅宗

334

石市告ス

昭和三年五月四日

申告	本籍地	現住所	所属部隊	氏名
	口上		不明	
			入籍番	不明
			海軍水兵	

備考

- (一) 本調査は部隊長又は職務取扱者等より於て、呉地方護国局人事部長宛に通報せしめ、認めてもらふに付記載する。
- (二) 呉鎮在の務方の特務士官准士官下士官等には記載する。
- (三) 同府県人は勿論、他府県出身者についても記載のこと。
- (四) 知得しうる範囲で出来限り詳細に記載すること。
- (五) 他人の関与を承知し、事実を誤り、若くは虚偽に相手方を記載せしめ、送付先

呉市下等町 呉地方護国局人事部長宛

#2764

本籍地	現任所	所屬部隊	入國年月	官等級	内地港灣出發年月日	内地到港年月日	職務・候要	受傷年月日	名（受傷部位）
[Redacted]	在工同シ	山三〇山三五八部隊 留駐身防	昭和十八年四月三日	上等水兵	昭和十九年三月	昭和十九年三月	不詳	昭和十九年十月十五日	全身大傷
			氏名	生年月日	入籍地				
			[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]				
			兵三	水兵	(不詳)				

死

機

害

機

害

#2764

時
一
瓶
元

時烈 年

右 廣 告 六

昭和二十一年七月五日

地

任
所

左一

隊

評

官
學
校

海軍一等功牌

名

入船番號

一 本國書ハ部隊長又ハ兵隊取切者毎奥地万復員局人
者ニ於テ知得シアラス。餘ムルモノノミニ付記ス。
二 免職在籍ノ特務士官並士官下士官兵ニ付記載ス。
三 同職人ハ勿論他用縣出身者ニ就テモ記載ス。
四 知得シアル範圍ニ於テ出來得ル限り詳細ニ記載ス。
五 他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各該機關ニ相手方ヲ記載ス。

本籍地

魂住所

右左所

所属部隊

莫局氣休軍八重山第一今陽（佐世傳海兵豐傳）

入國年月日

和十三年七月一日

襖

外種

理後

岳

真

掌
綴

1948年

本分

卷

100

入嘉禾縣志

1998

癸卯年正月

卷之二十一

1946

107

長時縣積德善吳永通

1

外
環
山
岩

$\frac{1}{x^2} = x^{-2}$

5/3

18

ハ
ウ
ア

勤務の概略

[illegible]

卷之四

三王節候圖

明平

100

聖應

熊本縣

戦死番号 4177

元亡年月日	死二場河官為面陳中	大正四年金	戰犯
生時之狀貌	子三子三決向九仁便軍之間服神是舊行有不明		

右ノ通承知してゐますから申着致します

昭和二年三月十日

申
入籍番号
要級
無賣長
氏名

告本籍地

著
龜庄所
右左所

所屬部隊
鎮海4軍特務隊

備考

出林調書^{しやう}を^し彼^か等^らの^の身^み上^{じやう}関^{かん}係^{けい}一^{いつ}切^{せつ}を^を處^ち理^りす^する^るも^も多^{おほ}し。あ^あら^らか^から^ら慎^{しん}重^{じゆう}に

且つ詳細に入るべき

他人から聞きて承知し、事項は其旨を庵余自に記入し、下とい

金澤第一一號ノ九八

昭和二十一年二月二十七日

金澤地方復員人事部部員

舞鶴地方復員局人事部部員殿

戰病死者ノ件通知

左記ノ者ノ死歿状況ニ關シ別紙ノ通り判明致候條至急諸手續相成度

追而本件ハ一月二十四日貴部
官補出張ノ際調査依頼定トヨ言部ニ

於テ復員者ニ付詳細彙集ノ上回答ヲ得度旨二月四日附通知有ルマ

ノ二付

記

故海軍上等水兵

本籍地

(別紙添)

終

21

119

別紙

一、發病

昭和十九年十月十日頃より全身浮腫出デ氣分悪ク十月二日夕刻ヨリ特ニ悪化シ四十一警軍医官ニ受診入室ヲ命ゼレ既ニ言語明瞭ナラズ

二、死亡

昭和十九年十一月三日〇六〇。頃兵舎ヨリ病室へ車ニテ運ブ途中死亡（軍医官、病名等不詳）

三、右報告者

元ニ曹

四、故人ト入團以來行動ヲ共ニセル右報告者ノ履歴表次ノ如シ

年月日	摘要	所屬處
十八、十一、一	臨時召集ノ令ニシテ舞鶴海兵團ニ入團海兵兵籍編入	舞鶴海兵團
ク	海軍ニ奉水兵ノ命デ即日充員召集	カ
十二、七	席（補充部附（補）	カ

十二七	一馬九。二室附ヲ命ズ	陸柳九郎
十九、一、八	宮崎凡便果十八、十二、十一機發實發	九、二空
	十八、十二、十四トヲ著十九、一、八入隊	
二十六	海軍一等水兵ヲ命ズ	九、二空
十八、十二、一	南洋群島方面戰務甲(加算率三月)	
十九、八、一	一時第四土管備隊附ヲ命ズ(即日第四艦隊水	
	上機隊ハ假入隊)	
八、九	假入隊中、屢復歸入隊	第四土管
十一、一	海軍上等水兵ヲ命ズ	

右並同行動、十一月三日迄七ス

五、中隊長  大尉  公身

小隊長  少尉 

班長  兵曹長 

六、故人ノ配置（報告書ニ全シ）

一、自十九年八月九日ニ空 交通艇員
至十九年八月

二、自十九年九月
至死 歿 四十（警爆彈攻撃隊員

終

120-10

240

整理番號 71908

元海軍軍人現況不明者調書

部隊 一、編成の時期及び場所(昭和四年四月) 二、内地出撃の時期及び場所(昭和四年四月) 三、進出要領	所屬部隊に關するもの (これ以上詳細且つ正確な情報があるときは別紙に記載のこと)	情報 昭和四年四月十五日 二重橋 少尉	既知事項 一、佐世保人事業務課資料 二、世話課(科)資料 三、家族(身寄)承知事項 三、一九一九年(一)遺骨有無(一)遺留品有無 三、一九一九年(一)遺骨有無(一)遺留品有無	留守擔當者 兄	所轄(辭令年月日) 二重橋 上機中 氏名 生年月日 入籍番號 本籍地
一、本人とは何處で何時迄一緒にいたか 二、その時の本	現況不明者個人に關するもの	現住所	非承知した事項 戦没(行方不明)の場所 戦没(行方不明)年月日 戦没(行方不明)の原因 戦没(行方不明)時編入 されていた戦半部隊名	現住所 縣 市郡 村町大字	本籍地 縣 市郡 村町大字

2470

三十一号四十六

佐世保地方防務局

[Redacted]

殿

三月五日送付

死歿者調書

三重県下ノミヤギノミヤノ...

本籍地	現住所	所屬部隊	入隊年月	官等級	官等級	戦地到着年月日	勤務概要	戦死年月日
本籍地	石石縣	イ一一一三二付新美丸	昭和五年十月十日	兵	兵	昭和五年十月十日	水般攻撃ヲ受ケ船体大破其ノ六八ノ船ヲ必死修理同月廿二日	昭和五年十月十日
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	港着十有日志ニ港出候十二月六日又ニ上島又ニ港入ニ候	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	千歳ガ攻撃ヲ受ケ船体大破三ノ船ヲ沈没ス戦用長	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	中回被弾致傷重戦死ス	[Redacted]